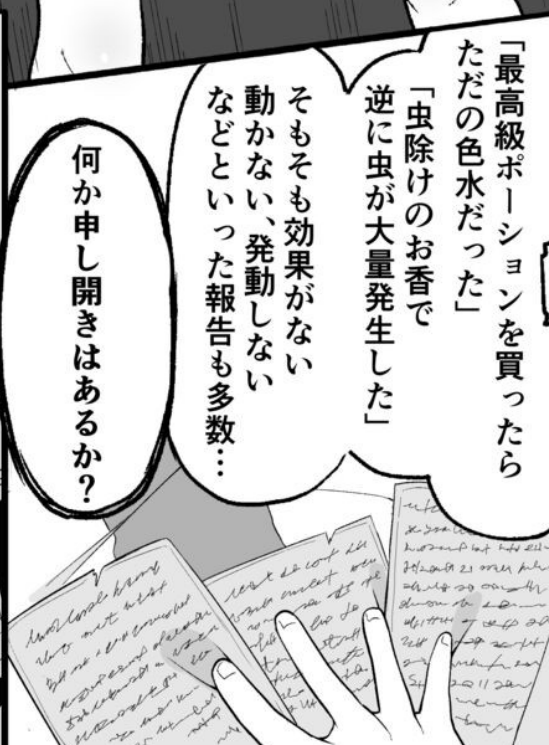




娼館に墮つ

悪徳商人

本文28P



「偽装看破」
シーイング

あつ

ラベルには「聖水」
とあったが…

この黒い泥は
なんだろうな…?

いや、その…

それは
ちがくて…

聖水の偽装は
重犯罪

犯罪奴隷行きは確実だ

「拘束」
ロック

出来心なんですうゝ

覚悟しておくんだな…

やだあゝ

犯罪奴隷は主に
肉体労働に従事する…

そう聞いていたけど…

こっちの

「肉体労働」

だったかあ…

ようこそ
我が館へ

肉体労働って…

うちは小柄な娘ばかり集めた
マニア垂涎の高級店でしてね

ですから奴隷はあまり
雇わないのですが…

あ、あの…

ボ、ボクはなんで
裸なのかなあって

たまにあなたみたいな上玉が出品
されるのでオークションは欠かさず
見てるのですよ…

あの？

聞いてます…？

少々実り過ぎな気もしますが
近頃はそういったのが好きな方も
多いですし問題ないでしょう…



さて、それでは

早速レクチャーと
いきましようか

娼婦とはなんたるかを
体に教え込んであげましよう



うちに来られる方は
大柄な方ばかりで
その小さな体では大変
かもしれませんか…

あれ？
ボクもしかして…

えと…

結構ピンチ
なのでは…？

どんな娘でもしつかり
気持ちよく慣れるように
調教するのが私の役目です

ですから
安心してくださいね



こいつがまだ油断してる
今のうちに…

おや？
聞いていますか…？

逃げるしかない…？

おっと…

全く…
仕方ありませんね…

「切苛」
トーマント

来ッ

奴隷といっても
従順である限りは
それなりの自由は
保証されています

ただ

それならば
従順でない奴隷に
罰が用意されているのも
当然だと思いませんか？

丁度良い機会です
痛みをしっかりと
体に刻み込んで
ください



おや？
目が覚めましたか？

確か頭が凄く痛くて…



ボクは何を…



貴女を客前に出す前に品質を
チェックしないとイケませんからね

あ、あれ…？

まずはこの
無駄に実ったモノの
感度検査から始めましょうか



そ、そっだ…

逃げようとしたら
頭が痛くなつて…

く…

あ…

きゅ…

痛すぎて気を失つて…?

ビクッ

うあ…

ビクッ

でも

気持ちよくて…

んっ

ビクッ

あれ…?

チカッ

んぎゅっ!?

ギリッ

ギリッ

ちゅっ

胸だけでイけるなんて
素晴らしい……！

才能がありますよ！

バ、バカかボクは……

気持ちよくなんかない……っ

はあ……

はあ……

気をしっかり
持たないと……！

それでは次の段階に
移りましょうか

耐えていれば
いつか隙を見せるはず……！

ほら
啜えてごらんさい

ふっ
ちゅっ

！

ぐっ

はっ





イッたばかりで
敏感だけど我慢…

今はまだ
従順なフリをしなきゃ…

んんん…

おおっ
良いですねえ…!

れろっ

むっ

やはり素晴らしいモノを
お持ちですね…

あつ、ちよつ…
勝手に揉むなあつ

ガ
シツ

いっ
しゅ

ガ
シツ

むにゅっ



喉奥も絡みついて
最高ですね…っ！

くっ
そろそろ
一度射精しますよ…っ
く、苦し…





げほっ

せ、精液で溺れるかと…

まだこれからですよ

きゃっ

てっち

あれだけ射精したのに…

まだこんなに大きく…

…ていうか

ボクの中に「これ」を入れるの…？

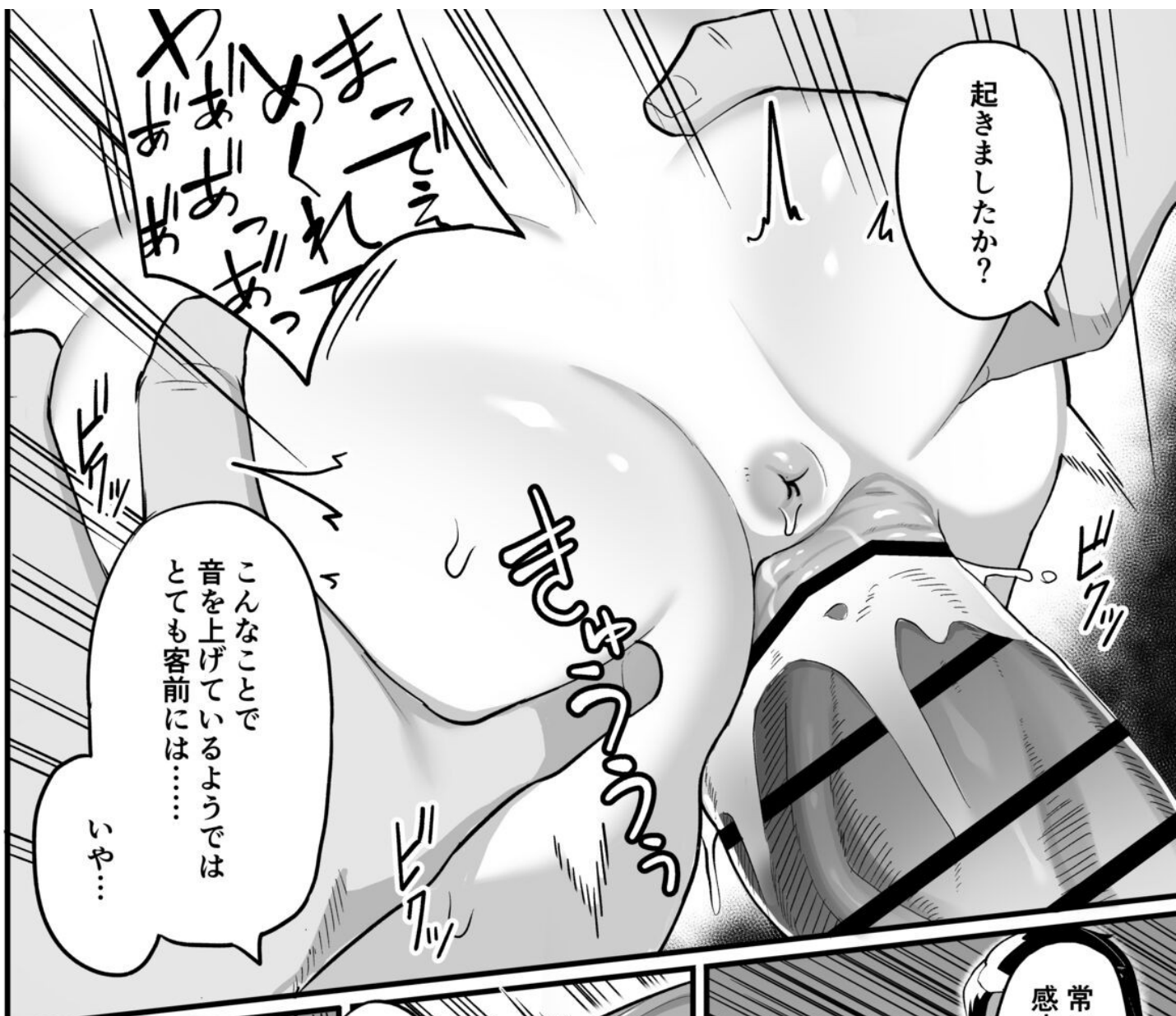
てっ









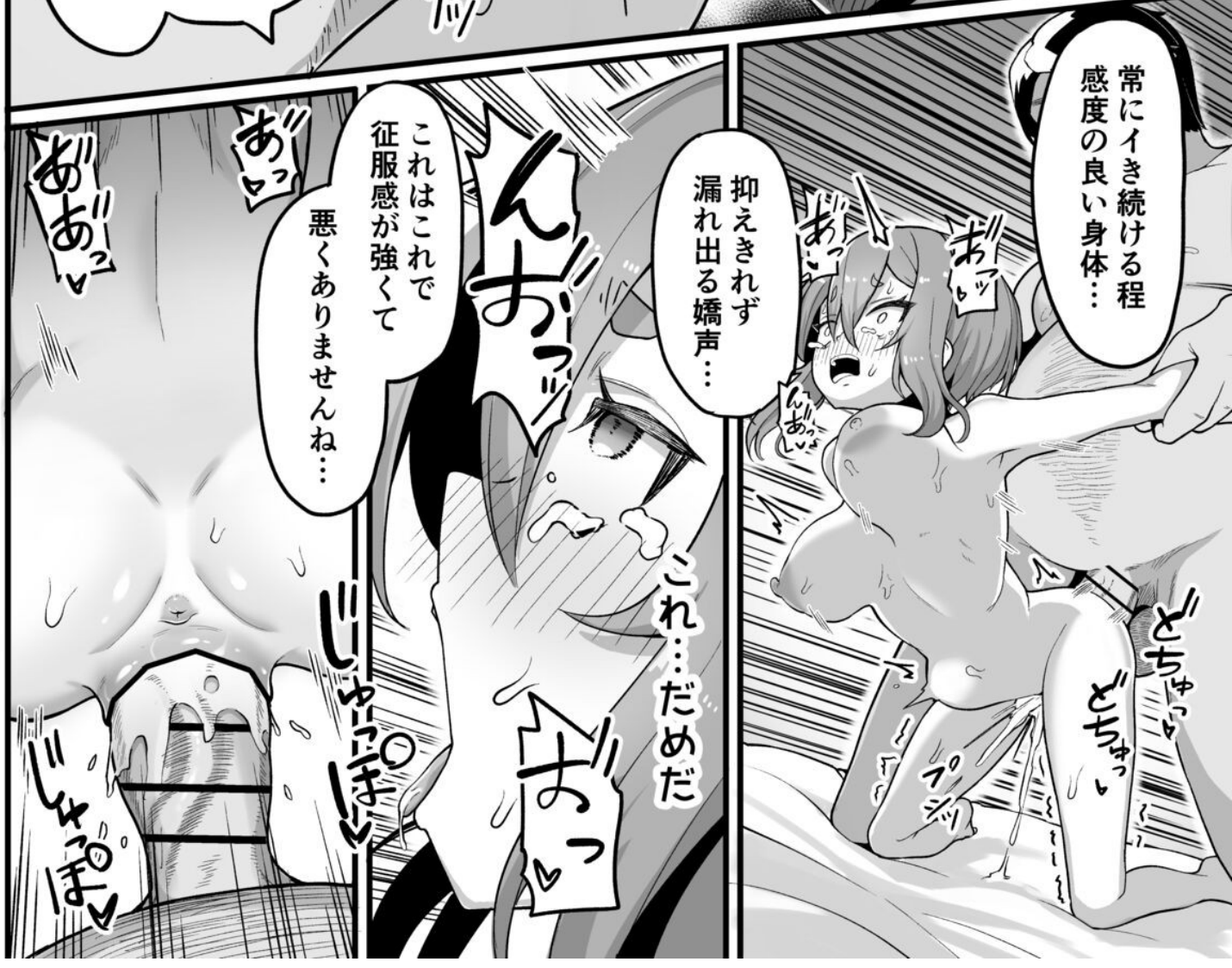


起きましたか？

まじゅうううう

こんなことで
音を上げているようでは
とても客前には……

いや……



常にいき続ける程
感度の良い身体……

抑えきれず
漏れ出る嬌声……

これ……だめだ

んがっ

これはこれで
征服感が強くて

悪くありませんね……

あゝあゝ

ううううう









これから個人的に
あなたを犯します

な、何言って…

貴女が悪いのですよ…

本当は商品チェックだけの
つもりだったんです…

びちっ

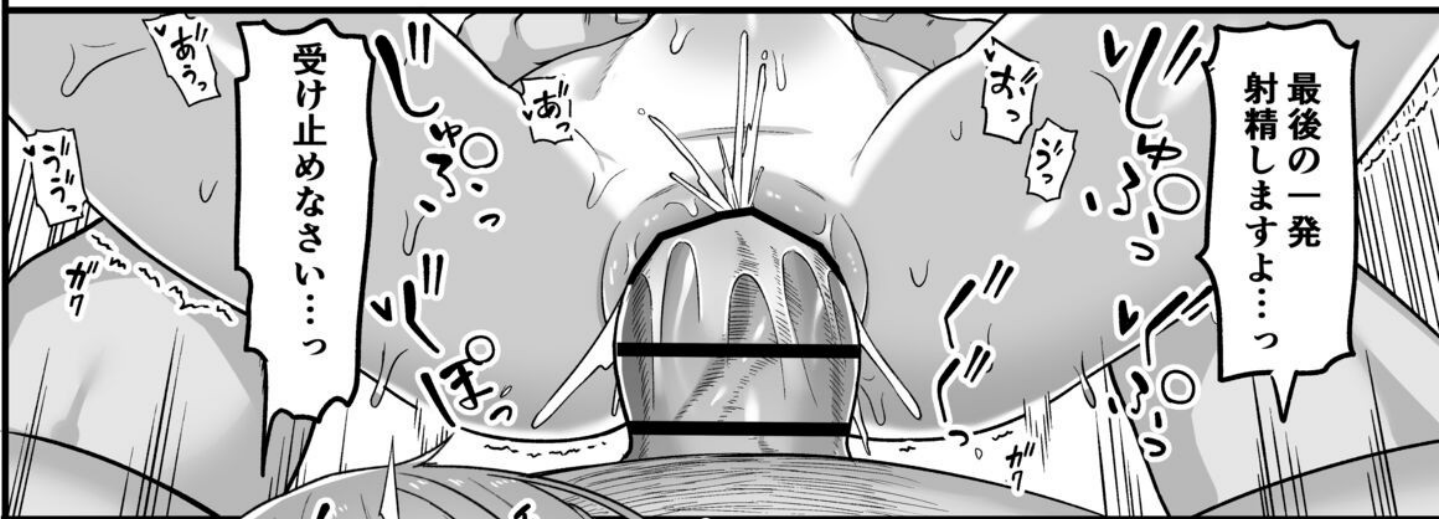
しかし貴女のその反応…！
そんなに泣きわめいて…っ
誘っているのですか…!?

こんなに気持ち
良さそうに喘がれて
収まりがつくわけ
ないじゃないですか…っ

先ほどまでのように
手加減は出来ませんから
壊れないよう
耐えてくださいね…









ふう…

年甲斐もなく
張り切ってしまいました…

今回は本当に良い買い物を
させて頂きました…

あなたの今後の活躍が
楽しみです…

それではまた明日から
よろしく願いますよ…

End.